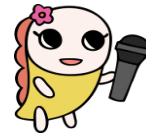




杉並区

約20年間、歌を届け続ける原動力は？



30.4.12
杉並区広報課

渥美二郎さんが障害者施設を訪問

12日午後、歌手の渥美二郎さん(65歳)が、区立すぎのき生活園(井草3-18-14)を訪問。約1時間にわたって、「夢追い酒」や「釜山港へ帰れ」などのヒット曲をはじめとした、約10曲を披露しました。

区立すぎのき生活園は、18歳以上の重度の知的障害者に、その心身の発達を促進し、日々充実した生活を送りながら社会的に自立できる能力を育てるために必要な支援を行う通所施設です。

杉並区在住の歌手、渥美二郎さんが、すぎのき生活園でのミニコンサートを始めたのは平成12年。渥美さんの近隣に住む方が、同施設を利用していたことがきっかけでスタートし、今回で19回目の開催です。

渥美さんは、すぎのき生活園以外にも、約10施設で同様にコンサートを行っていて、長いところでは30年間続けている施設もあるそうです。

また、平成7年に発生した阪神淡路大震災の被災児童救済を目的としたチャリティーコンサート「人仁(にんじん)の会」の発起人でもあります。今年で第24回目を迎える同コンサートは、今年6月にセッション杉並で開催される予定です。

こうした活動を長年にわたって続けている渥美さんにその原動力を聞くと「皆さんの喜ぶ顔や、また来てくださいという声でエネルギーをもらえるんです。実は私の方が倍くらい元気をもらっているんですよ」と話していました。

12日午後1時45分、施設利用者や近隣の住民、高齢者施設の利用者など約100人が集まる中、渥美さんのミニコンサートが始まりました。

大きな歓声の中、登場した渥美さんは、ヒット曲の「夢追い酒」や「釜山港へ帰れ」などを熱唱したほか、施設職員のピアノやギターの伴奏で「ふるさと」や「千の風になって」など、おなじみの歌で会場を盛り上げていました。



アンコールの一曲を終えた渥美さんが「皆さんお元気で。また来ます」とあいさつすると、会場からは大きな拍手が贈られました。

【問い合わせ先】

すぎのき生活園けやきグループ：03-3301-4160

総務部広報課：03-3312-2111 (直通)